

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



梅雨の時期から一転、猛暑と高湿度、更に大型台風に見舞われた夏も、ここにきてやっと落ち着き、少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。

日中は未だ暑さが残るものの、賑やかなアブラゼミの大合唱は聞こえなくなり、夜はスズムシの鳴き声に変わりました。

秋への移ろいを実感しますね。

季節の変わり目は、夏の疲れが残っていて、

体調のすぐれない人もきっと多いはず。



そんな時は、十分な休養と栄養を摂り、無理をせずによく眠ることを心掛け、秋本番に備えましょう。



スポーツ・芸術・読書・行楽そして食欲の秋…。

お祭りなど楽しいこともいっぱいありますね。

お元気で楽しい毎日をお過ごしください！

失敗事例から学ぶ家づくり成功の秘けつ！（11）

新たなテーマとして、家づくりの際に注意すべき大切なポイントを書かせていただいています。ご参考になれば幸いです。

【イメージと違う、こんなはずでは・・・】

「クロスの色合いが思っていたものと違う」

「照明器具が予想より高級感が無く平凡で残念」・・・こんな風に、イメージと実物に大きな違いを感じてしまうことがあります。その原因の一つは、住宅会社が過度の期待を持たせてしまうところにあります。

では、家づくりを依頼する側が過度の期待を抱かないようにするにはどうしたらよいのでしょうか？

「打ち合わせと違う」と失望しないために次のポイントを心に留めておいてください。

●売りが買い手に対してメリットを強調するのはよくあることです。



ですから、買い手側が商品のメリットだけではなく、デメリットもよく知っておくことが大切です。

「この外壁のデメリットは何ですか？」

「このクロスを選ばなかった人はいますか？」

このようにデメリットを確認した上で決めると、後悔することが少なくなります。

●実際に近い環境で確認すること

例えば、クロスは次のようにして確認しましょう。

南側の部屋で使うクロスは、明るい太陽光線に当てて、どんな色なのか確認します。北側の部屋で使うクロスなら、照明器具の光の下で確認することです。

また、外壁は様々な天候の下で確認しましょう。

雨の日、晴れの日、曇りの日、それぞれどんな色合いになるのか目で見ることです。本来ならば、クロスや外壁も家一軒分貼ってあるようなサンプルから選べたらベストですがそれは不可能です。が、実際の条件でどうなるのかを確認する工夫の余地はあると思います。



次回に続く

「台風って何ですか？」

強い風と多量の雨を降らせるのが台風です。

熱帯気圧と呼ばれていて、風が大きく渦を巻いている状態を示します。そんな台風は、熱帯の海上で生まれます。熱帯の海では太陽の照射が強い為、海水の温度が上昇、それにより多量の水蒸気が発生して空に上がっていきます。それが大きな雲を作り、台風の素に変わっていきます。水蒸気が発生し、空へ上がることで、雲の周りは湿った熱い空気が集まり、渦を巻きだします。中心を台風の日と呼び、そこを真ん中にして渦を巻く空気の流れが速くなることにより、風がますます強くなっていきます。これが、台風が作られる原因です。この台風は、強い風の塊ですので、風と共に雨を降らせ、移動することで大規模な災害へと発展していきます。周囲の渦を巻く場所はかなり強い風と雨を降らせるせいですが、台風の日は、不思議なことに雨や風があまりなく、青空を見せることも可能です。台風は大災害を起こしますので事前の対策が必要です。



FREEZE

(フリーズ=凍る) 脳



もし、私たちが何か調べ物をしようとした際、以前ならかなりの時間と労力が必要でしたが、インターネットが普及した今では、どんなことでもいとも簡単に調べることができるようになりました。

また、興味がある項目は、“お気に入り“に入れておけば、いつでも引き出せるため、覚えておく必要もなくなりました。

その結果、現代人の脳の使い方が確実に変わってきていると言われます。

気になることはどんなことでも簡単に情報を得ることができるので、記憶という作業が行われる回数が大幅に減りました。

そして、他の人にURLを送れば、自ら説明をする手間が省けるため、内容を深く理解しておく必要もなくなりました。

脳の負担が減り楽になるのは、ITを上手に使いこなしている証拠で、それはそれで良いことと考えがちですが、パソコンに依存した生活は、思い出す手掛かりのない記憶がどんどん増える一方、脳は偏りがちになり、記憶の部分に大きく依存するため、記憶力やクリエイティブな脳の退化につながるようにもなりました。

それにより、

*長い話ができない

話の内容が理解できない

*何か話そうとしても、頭の中が真っ白になり言葉が出ない・・・等など、まるでパソコンがフリーズするように、不意に言葉に詰まったり思考が一時停止してしまい、空白の時間が生まれやすくなってしまおうそうです。



これは、大量の情報でも楽に取り扱えるようになった分、覚えたり、考えたりする時間が減り、中途半端に情報を得ることで、

「知っている気がするけれど思い出せない」と言う人が増えているそうです。

面倒な作業や苦手なことを避けていると、仕事や生活はシンプルになっていきますが、生活の中で物事を新しく組み立てていく、という部分が無くなり脳の回転数が減ってしまいます。

脳というのは、基本的に怠けたがるものであり、高度な使い方をしていないと、どんどんその能力を失ってしまいます。

面倒と思われる雑用を積極的に行うことは、脳のトレーニングになるとも言われており、以前は忙しかったのにできていた、ということは、むしろ雑多なことをしていたからこそ、なのかもしれません。

知識や情報を得るまでのプロセスに、多様性や複雑さを除いてくれる便利な生活の中では、意識して脳を使うことが必要、と

されているのかもしれませんがね。



「編集後記」

うんざりするほどの猛暑が続き、熱中症などで体調を崩された方も多かったのでは？と気になります。

炎天下、現場で働く職人さんたちは暑いからといって仕事を休むわけにはいかず、完成を楽しみに待っていてくださるお施主様の笑顔を思いながら頑張ってくれました。

本当にご苦労さまでした。ここで一息入れてくださいね。

秋は様々な行事でお忙しいことと思いますが、体調を整え、どうぞ充実した日々をお過ごしください！

度重なる台風やゲリラ豪雨等により、被害にあわれた皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

今月号もお読みいただき有難うございます。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子